

皮膚バリアと乾燥と表皮ターンオーバー

1. 皮膚バリアの修復を図るために、表皮幹細胞や基底細胞の生成を助ける成分を使用します。これにより、肌の表皮幹細胞や基底細胞の代謝が活性化され、角化過程が促進されます。その結果、無核細胞からなる角質層が過剰に産生されるが、過剰な使用や不適切な使い方によっては有核細胞の角質層が産生されます。
2. 皮膚バリアが壊れ、角質層の水分保持量が 15%から 20%の範囲から外れると、デスモソームやタンパク分解酵素が機能しなくなります。そのため、剥がれ落ちるべき角質層が残ったままとなり、過剰に産生された無核細胞の角質層がさらに厚くなります。角質層の水分保持量がこの範囲から外れることは、角質肥厚の進行要因となります。

乾燥は皮膚バリアが壊れることで起きます。皮膚バリアが壊れると乾燥し、1. 『細胞の生成』と 2. 『細胞の剥離』のバランスが崩れ、角化のサイクルが乱れてしまいます。角化のサイクルが乱れる最大の原因は、皮膚バリア崩壊による乾燥であり、単なる乾燥ではありません。この科学的事実を多くの方が知らないのです。

乾燥とは皮膚バリアの崩壊を意味し、それは単なる保湿や、表皮幹細胞や基底細胞の生成を助ける成分・角質細胞の剥離を助ける成分だけでは解決できません。重要なのは、皮膚バリア自体を修復し、角質の水分保持力を向上させることです。これによって、乾燥を根本的にケアすることができます。多くの方がこの科学的事実を理解していないため、正しいスキンケアが必要です。具体的には以下のようなアプローチが考えられます。

- 皮膚バリアを修復する成分: リノール酸含有の合成界面活性剤不使用のエマルジョン製品を使用する。セラミドやヒアルロン酸、フィトステロールなどが含まれる製品を使用するのではありません。
- 角質の水分保持力を高める: 角質細胞間脂質のラメラ構造を健全に保つための成分「リノール酸」を使うことが重要です。
- 適切な洗顔ケア: 過度な洗顔や強力な洗浄成分(合成界面活性剤)の使用を避ける。

このような対策を講じることで、乾燥を解消し、健康な肌を保つことができます。

●表皮幹細胞や基底細胞の生成を助ける成分

- EGF(合成・天然)・レチノール(ビタミン A 誘導体)・ナイアシンアミド(ビタミン B3)・アデノシンーリン酸二ナトリウム 0T

●角質細胞の剥離を助ける成分

- AHA(アルファヒドロキシ酸: グリコール酸や乳酸など)・BHA(ベータヒドロキシ酸: サリチル酸)・酵素(パパインやブロメラインなど)